

公務員宿舎朝霞住宅（仮称）整備事業が中止になりました

富岡市長および利根川市議会副議長は、11月22日(火)に財務省を訪問し、安住財務大臣宛ての「公務員宿舎朝霞住宅（仮称）整備事業に関する要望書」を、吉田財務政務官に提出しました。

席上、政務官からは、「地元の皆様にはご心労、ご面倒をおかけした。朝霞の宿舎整備事業を含めて、現在、国家公務員宿舎の削減のあり方についての検討会で総合的に判断しており、早期に結論を出す方向で努力する。また、従来から続けている協議事項についても、これまで築き上げてきた朝霞市と政府との関係を維持しながら、基地跡地の利用についてこれからも良く協議させていただきたい。」とのお話をいただきました。



【吉田財務政務官に要望書を手渡す富岡市長
11月22日(火) 財務省にて】

出す方向で努力する。また、従来から続けている協議事項についても、これまで築き上げてきた朝霞市と政府との関係を維持しながら、基地跡地の利用についてこれからも良く協議させていただきたい。」とのお話をいただきました。

その後、12月1日(木)に財務省は、検討会の報告を受け安住財務大臣が「5年間で公務員宿舎5.6万戸（25.5%）程度を削減し、朝霞住宅は中止する。」と発表しました。

市といたしましては、財務省の判断にあたって、市の要望を重く受け止めていただいたものと考え納得するものであり、事業の中止を真摯に受け止め、今後も基地跡地利用の推進に努力してまいります。